

事務事業事後評価シート[平成26年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	農林部農林企画課		■担当係	農地林務係
■評価事業名称	林業振興事業			
■評価事業コード	050100 - 025	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり		
	■基本施策	03 魅力ある農林業の振興		
	■施策	06 森林資源の保全と多様な価値の活用		
■事業の種類	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策	
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称	北上市森林整備計画			
■事業の概要	森林の有する公益的機能の維持増進を図る。森林を適正に管理するため、各種届出受理及び現地調査、巡視並びに座談会の開催等の事務を行う。林業振興計画策定等の事務(5年毎)を行う。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成26年度事業計画	平成26年度事業量実績
01	林業振興事業	森林所有者	・愛鳥の森管理 5月～翌年3月 E森林管理巡視 30日 E伐採届受理 40件 E林業座談会 4会場 70名参加	・愛鳥の森管理 5月～翌年3月 E森林管理巡視 30日 E伐採届受理 21件 E林業座談会 4会場 71名参加

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	備考
直接事業費	401	16			
人件費	2,002	1,652	305	2,168	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	2,403	1,668	305	2,168	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	23年度	24年度	25年度	26年度	指標の説明
01	林業座談会の会場数	8会場	4会場	5会場	4会場	座談会開催会場数
02	森林管理巡視業務	5,962ha	5,962ha	5,962ha	5,962ha	私有林の管理巡視面積
03	林業座談会出席人数	71人	76人	65人	71人	座談会出席者数

事務事業事後評価シート[平成26年度事業]

04	座談会1会場当りコスト	300千円	417千円	61千円		
05	私有林1ha当りコスト	0.4千円	0.2千円	0.1千円		

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

私有林の巡視や伐採届の受理状況により、違法伐採等もなく、適正に管理されている。座談会により、林業に対する意識向上が必要。

問題点・課題等

林業座談会の出席者数が増加していないので、周知方法や会場の検討が必要。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小・要改善
- IV. 民間活用・協働事業化
- V. 廃止・休止
- VI. 完了

補足説明

森林所有者の森林活用への意識向上や私有林の適正管理のため、今後も必要